「大阪市生物多様性戦略」における生物多様性保全に向けた取組みについて

～区役所や図書館等と連携した情報発信の実施～

環境局環境施策部環境施策課

「生物多様性」とは？

地球上の生物の種類は3000万種ともいわれています。

これらの生物は様々な関係で繋がっており、人類を含めて様々な生物が様々な個性を持ち、繋がっていることを生物の多様性といいます。

人類は、食べ物や衣類、木材、医薬品などさまざま分野において生物多様性のもたらす恵みにより生存しており、生物多様性は人類の存続の基盤となっています。

多様な生き物のつながり（生物多様性）が私たちの社会・経済、さらには文化・教育など幅広い分野の基盤

文化を支える生物多様性について

〇豊かな文化の根源

各地域には、地域固有の生物多様性と深く関連したさまざまな知識や技術、豊かな感性や美意識が培われています。たとえば漬け物、味噌、しょうゆ、日本酒など、地域の微生物と食材が織りなす地域固有の食文化があります。

〇安全・安心の基礎

森林を守ることは山地災害の防止や土壌の流出防止、安全な飲み水の確保につながります。また、農薬や化学肥料を使いすぎないことは、食べ物の安全性を高めるばかりでなく、生態系の健全性を高めることを通じて、土壌微生物の活動を活発にし、害虫防除の機能を発揮します。

「大阪市生物多様性戦略」とは？

■ 計画の位置づけ

○「生物多様性基本法」第13条に基づく地域戦略

■ 計画期間

○2050年のめざすまちの姿を展望しつつ、
計画期間は2021から2030年度までの10年間

■ 計画の目標

《2050年までのめざすまちの姿》
「生物多様性の恵みを感じるまち」

《2030年度までの目標》
○生物多様性の保全と持続可能な利用の促進

○生物多様性の保全のための多様な主体との連携・協働の推進

○自然や生き物を身近に感じる市民の割合を50%以上にするとともに、生物多様性保全に貢献する取組みを行う市民等を増やしていく。

（参考）生物多様性と関連する施策の動向

「生物多様性の恵みを感じるまち」に向けた取組み

≪基本戦略と具体的取組み≫
「生物多様性の恵みを感じるまち」を実現するため、４つの「基本戦略」に基づく12の「方針」、50の「具体的施策」により、計画を推進します。とくに、多様な主体との連携・協働により、生物多様性の保全及び持続可能な利用に取り組みます。また、一人ひとりのライフスタイルからできることを多くの人に広がるよう、取り組みます。

◆生物多様性戦略の４つの「基本戦略」

基本戦略A
生物多様性の発見と行動の展開

基本戦略B
自然空間の保全・創造

基本戦略C
生物多様性に配慮した生産・消費への変革

基本戦略D
都市・地球環境問題に対する取組み

◆2050年のめざすまちの姿「生物多様性の恵みを感じるまち」

◆多様な主体との連携、協働

◆ 「一人ひとりのライフスタイルからできること」（持続可能な生産消費）

５ステップの取組み

・2050年の大阪市の「めざすまちの姿」の実現に向け、一人ひとりが生物多様性の保全に貢献する取組みを行う必要があります。
・生物多様性がもたらす恵みを「知る」から始まり、「発見する」「理解を深める」「行動する」を経て、「行動をつなげる」の５ステップで取組みを進めます。

«取組みを進める５ステップ»

行動をつなげる

各主体とのパートナーシップの仕組みを形成し、生物多様性保全に貢献する取組みを推進する

行動する

日常生活や事業活動の中で生物多様性に配慮した生産・消費を通じ、社会を変える

理解を深める

生物多様性保全に向けた取組みについてよく理解する

2050年までのめざすまちの姿

「生物多様性の恵みを感じるまち」の実現

知る

環境教育や自然とふれあうこと等を通じ、「生物多様性」がもたらす恵みについて知る

発見する

生物多様性を身近に感じその危機や保全することの重要性に気づく

区役所や図書館等と連携した情報発信

○大阪市中央図書館（期間　６月21日～7月14日まで）
「すばらしきこの世界 いきものすごい!植物もすごい! -生物多様性の本箱-」

○此花区1階正面玄関ギャラリー
（期間　８月16日～８月27日まで）

基本戦略A:情報発信

≪天王寺動物園での企画展の実施≫

・新しくオープンしたTENNOJI ZOO MUSEUMにて、企画展「いきものなにもの？いきものたちの命のつながり」を実施しました。
・大阪市立環境科学研究センターとのコラボで、大阪市内の小学生が学校で集めたたくさんのいきものたちも紹介！研究員等によるマイクロスコープをつかった標本などの解説を行いました。

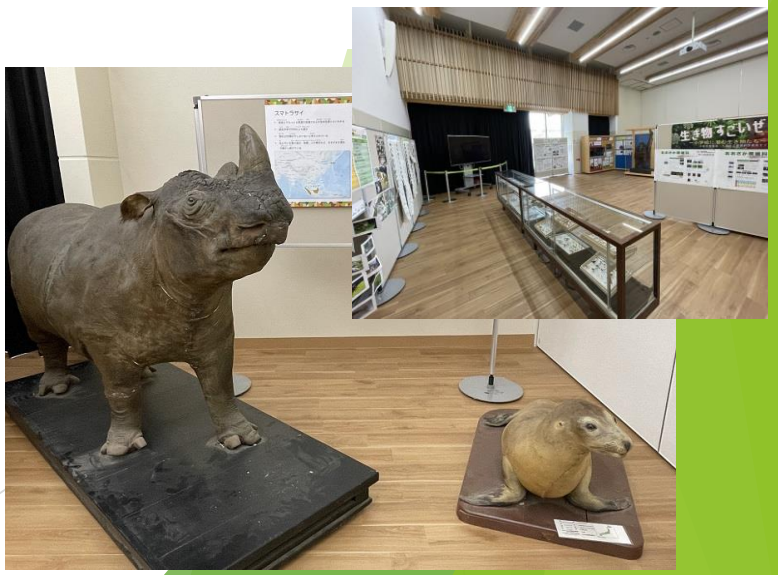
展示風景

環境科学研究センターの方による講話

企画展「いきものなにもの？
～いきものたちの命のつながり～」

生物多様性をテーマに、パネルや標本展示、ワークショップを通じて楽しみながら学べる企画展の実施
（新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組みとして、規模を縮小し実施）

○開催期間：令和3年3月23日～4月18日
○開催場所：学習休憩棟内だいしんワクワクホール
○講話・ワークショップ
・獣医師or動物専門員による「生物多様性」講話
・科学研究センターの職員による講話」
・ワークショップ「チリメンモンスターを探せ！（中止）
・生き物すごいぜ！～小学校30校に潜む生き物たち～



基本戦略B:希少種保護対策

≪長居植物園での自然環境への配慮≫

・長居植物園では、国内外の希少な動物の生息域外保全を推進しています。
・河川敷の堤防工事にあたり行われた環境アセスメントで発見された局地的希少種であるオカルガヤ（種子と移植個体）の栽培管理を依頼され、施工完了後、自生地に戻す活動に協力しています。
（自生地には移植個体のみを戻し、種子からの播種個体は当面、長居植物園で管理する）

オカルガヤ

≪上記以外の取組み≫
動物と植物のつながりクイズスタンプラリー

クイズを解きながら、動物と植物のつながりを学ぶイベント

下記の実施期間において、全３弾で実施しています。
2021年07月06日（火）～2021年10月3日（日）

天王寺動物園×長居植物園

基本戦略C:国産木材の利用促進

≪中央図書館の地下1階の一部に「Hon+α!（ほな！）」を整備≫

・近年、木材価格の低迷等の理由により、手入れが遅れる森林が増えています。大阪市では、木材の利用促進に向けた取組みを進めています。
・その一環として、大阪市立中央図書館の整備の際に、大切な森林を守るために創設された「森林環境譲与税」を活用し、国産木材を使用しました。

「Hon+α！（ほな！）」
河内材を活用したスペース

木材利用は森林の適正な保全につながります！

・森林は、日本の国土の７割を占め、その４割が木材を収穫するために育てられている「人工林」です。
・人工林は、適切に間伐し、収穫後は新たに苗木を植えることでバランスのとれた状態を維持することができます。

➡適正に保全された森林は様々なメリットをもたらします。（土砂崩れ防止、水源涵養、生物多様性保全）

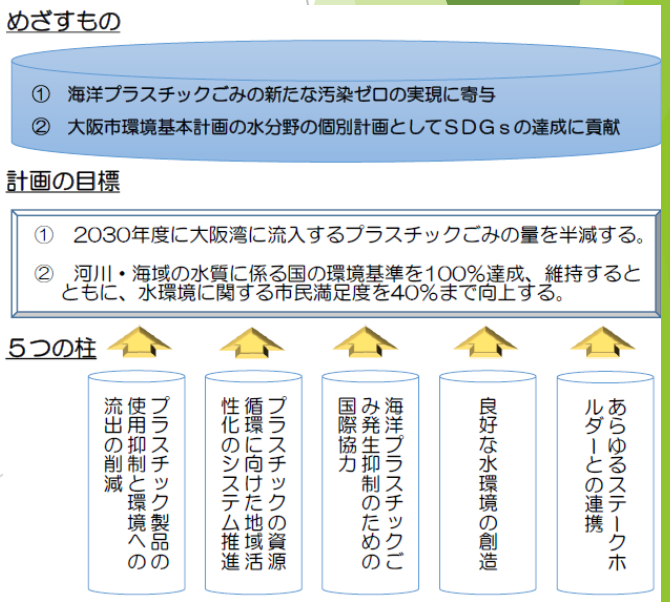
基本戦略D:大阪ブルー・オーシャン・ビジョン関連

«海洋プラスチックごみ発生抑制のための国際協力»

- 国際連合環境計画国際環境技術センター（UNEP－IETC）等と連携して、国際会議等の場を活用し、プラスチックごみの削減等の大阪のSDGｓに関する取組を国内外に発信しました。
- 情報発信を通して、市民、事業者に対して、環境保全への認識と地球規模での環境問題の理解を深め、SDGｓに関する取組みを促進しています。
- プラスチックごみ削減に関する取組を紹介する動画を作成しました。
  ～プラスチックごみからきれいな海を守る。あなたが行動を起こす、まさに、今がそのターニングポイント～

国連環境総会に参加（ナイロビ）

プラスチックごみ問題に関する
国連環境計画シンポジウム（大阪市）

大阪ブルー・オーシャン・ビジョン実行計画

- 令和2年7月に大阪市と大阪府の提案が内閣府の「SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業」に選定されたことを受け、大阪市と大阪府が共同で策定
- あらゆるステークホルダーとの連携のもと、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が掲げる「2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染ゼロ」の実現に寄与
- 「大阪市環境基本計画」の水分野の個別計画としてSDGsの達成への貢献をめざす。